

# 広報 であらどまり

1982  
8/30  
No.95

短い夏……

天候は不順であったが  
環境に恵まれる寺泊の海水浴場は  
家族づれや若者たちのウインドサーフィンなどで賑わい  
港まつりの海上花火で華を飾る

《人回の動き》

昭和57年8月1日現在 人口13,405 (男 6,507 女 6,898) 3,081世帯  
( ) 内は前月比 (-12) (-7) (-5) (-1)

新潟県三島郡寺泊町役場発行 電話(025875)3111 総務課編集

## 民謡と踊りで若返り 老人演芸大会

恒例の「老人演芸大会」が、七月二十日町体育館に於て、約七百名のおとしよりが集まって盛大に行われました。

今年新たに開設された「民謡教室」の発表の場を兼ねて、各老人クラブの皆さんによる唄と踊りが披露されました。「寺泊おけさ」や「チャンチキおけさ」の踊りははじめ、民謡、浪曲、演歌とバラエティーに富んだ出しもので皆さん若々しくハッスルしておられました。

また、ボランティア活動で交流のできたコロニーの生徒も大勢見物をし、親睦と交流の深まった大会でありました。



お年寄りにとつて、唄、踊りを楽しむことは、若返り、健康にも



つながるとあつて、現在「民謡教室」には、約七十名の方々が参加しており、唄と踊りを練習しています。これから参加を希望される方は、役場住民課又は夕映荘へお申し込みください。

## 「ゴミ」は水切りをよくして

毎年夏になると、スイカや果物などのクズが大量にゴミとして、出されゴミ処理場は燃えにくいゴミで、非常に困難をきたしています。

スムーズなゴミ処理で、いつもきれいな住みよい環境を維持するために、次の点にご協力ください。  
○調理場、台所から出るゴミは水切りを十分にして、古新聞などに包み、ほかの燃えるゴミと一緒に袋に入れて出してください。  
○スイカや果物類は、なるべく畑や空地に埋め、自然へ還元するようにする。  
○ジュースや空ビン、絶対にゴミの中に入れては、指定され

## 《停電のお知らせ》

月日	時間	場所
9月10日	9時~12時	円上寺の全域
9月22日	9時~13時	矢田・入軽井の全域 町軽井・高内の一部

ご協力をお願いします

た「危険物を出す日」に出してください。  
○プラスチック類は焼却炉をいためたり、公害の原因になりますので、危険物の日に出してください。

## あなたも参加しませんか 第4回寺泊シーサイドマラソン

マラソンコースは昭和54年に陸連の公認を受けて、年々盛会になっております。昨年は県内はもちろん、北海道や九州などからも申し込みがあり、900人近い選手が参加しました。

きれいな海と空の自然美いっばいのコースにあなたも挑戦してみませんか。

- 日時 昭和57年10月17日(日)
- 会場 寺泊町営陸上競技場  
(受付は寺泊町体育館前)
- 種目 5kmの部 中学生男子・中学生女子・一般女子及び高校生女子  
10kmの部 高校生男子・一般男子・一般女子  
30kmの部 一般男子・一般女子
- 参加資格 一般アマチュア選手  
(ただし、小学生は参加できません)
- 申込先 〒940-25 三島郡寺泊町  
寺泊町教育委員会内 寺泊シーサイドマラソン大会事務局宛  
(TEL2446)
- 申込期限 昭和57年9月15日

## 郷土「寺泊」文化財関係資料冊子 増刷り予約受け付けます

新潟県文化財調査年報第16

寺泊・出雲崎

1977

昭和52年に郷土「寺泊」の海にかかわる貴重な歴史、文化、遺産を歴史、民俗、考古学的見地よりまとめた、調査報告書(県教育委員会編)を実費で斡旋しますので、ご希望の方はお申し込みください。

実費頒布価格 1,500円  
(原価2,500円のを今回にかぎり1,500円で頒布します。)

※申し込み期限及び申し込み先  
9月10日までに町教育委員会  
(TEL寺泊局2446)  
へ申し込みください。

# 待望の水族博物館建設 八月七日に起工式挙行

現水族館は、昭和二十七年町に移管されてから三十年、観光の目玉として観光客を楽しませ、町の発展に大きな貢献をしてきました。が、施設の老朽と狭いから時代にそぐわないものとなり、町をあげて近代的な水族館の建築がもともとられておりました。

その待望の水族博物館の建設工事がいよいよ始まりました。建設位置は、マイカー時代にふさわしい大駐車場のスペースが確保できる場所として、初代水族館跡地を所有者の好意により譲り受けました。本体は水域面を選んで水上に浮ぶ四層のモダンな建物で特色を生かした設計になっており、完成後は観光立町を支える大きな呼び物となる施設と期待されます。



▲起工式で工事の無事完成を願って力強く鉄入れをする中島町長

日本周辺の魚をはじめ、各国水域の珍しい魚が集められ、大回遊水槽いっぱい泳ぎまわることになっていきます。また、大回遊水槽の中ではマリ

ンガールによる飼付けショーも行う計画で、きっと皆さんの目を惹きつけてくれることと思います。内部も海洋資料の展示など、近代的施設がいろいろ計画されています。

工事の施工は、本体及び擬岩水槽工事は(株)中元組、飼育設備工事は新潟市に支店のある大阪電気暖房(株)、機械設備工事は柏崎市日新設備工事(株)、電気設備工事は分水町有隣工業(株)がそれぞれ契約を結び、来春の完成に向けてスタートしました。



▲観光のメインとなる水族博物館建設基礎工事が急ピッチ

## 御挨拶



寺泊町長 中島甚一郎

きびしい選挙戦を経て再選をさせていただき、ご支援くださいました皆様に心から感謝申し上げます。

そして七月二十五日から新しい任期に入り寺泊町の代表者としての責任を改めて強く感じております。

さて地方自治体運営はきわめてきびしい諸情勢にあります。前期の経験を生かし議会はじめ全町各位のご理解とご協力をおねがいして、当面の課題であります高校昇格の件をはじめこのむずかしい時期にある各種産業の振興対策、教育・スポーツの充実強化、福祉の推進、道路水路の改良整備等々に積極的に取り組み、これらの施策や事業をより効果的に進め、将

来見通しにたつ長期総合整備計画はさき決定したものを尚分析して現時点での補完をなし、今日的情勢から適確な見通しをたてにくいなかですがより慎重に調査をなし、理屈や理論のみをかけることなく一つ一つ着実に実行してゆきたいこととあります。尚上水道改良工事は大事業でありますので一層慎重にこれを研究し準備等の諸手続きを本年中におわり来年より着手となりますが特段のご協力をおねがいいたします。

このように皆様方のご理解あるご協力をおねがいすることのみであります。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。皆様方々のご清祥をお祈り申し上げ再選のご挨拶といたします。

恒例の成人式が八月十五日町体育館で行われました。今年の新成人は二百四十名の若人で、会場は華やいだ雰囲気といっばいとなり、地元に残っている者、町外に行っている者も新成人となった喜びを体いっばいに表わしていました。

## 成人おめでとう



ふるさと寺泊は、諸君の活躍に大きな期待と信頼を寄せております。との激励に、新成人を代表して八子仁君が「今日を一つの区切りとして、将来に向けて力強く生きてゆきたい」と誓いの言葉をのべ、大人になった自覚とその責任の大きさに胸をふくらませていました。

民法第三条は「満二十歳ヲ以テ成年トス」と定められており、法律上、独立した社会人としての地位が与えられます。

二十歳になられた皆さん、一人前の大人として、また、一人の社会人として「ガンバッテ」ください。

# 町民総参加で楽しんだ 港まつり



八月五・六・七日の三日間にわたり「寺泊港まつり」が各日のメイン行事の全町カラオケチャンピオン大会、寺泊おけさ民謡流し、海上大花火大会を中心に飛燕太鼓、八木節等の協賛行事の参加をえて、みなと公園会場を中心に盛大に開催されました。

どの会場もどつと見物客がおしかけ人の山満足そうな顔で見て、人もあれば、子どもが参加している親などは真剣そのものの顔。こんな人々の顔を見てみると町民総参加のまつりとしては、大成功でありました。

これもひとえに町民各位からの協力によるものであり、厚くお礼申し上げる次第であります。



見物客の中にはいり話しを聞いてみると、

「港まつりがあるの知らないで寺泊へ海水浴に遊びに来たのだが、こんなきれいな花火（海中大スターメイン）は見た事がない。今日は寺泊へ来てよかった。今度毎年この日にあわせて遊びに来ます。」観光客

「このまつりを見ていて、私の子供の頃、この浜辺で遊んで楽しかった頃の『ふるさと』を思い出しました。来年も必ず私が生まれたこの『ふるさと』へ自分の子供を連れて遊びに来ます。ここが私が生まれた町だといって——寺泊出身者——」

こんな話をしながら最後まで楽しんでおられたようです。

## 友好を深めた 両泊子ども交歓会

第四回両泊子ども交歓会が、七月二十五日から三日間、寺泊小学校を主会場に開催されました。

この交歓会は、三年前（五十四年）の国際児童年に始まったもので、昔から深いつながりをもつ両泊の歴史と、変わることはない友情を子ども達の時代から体験させ、さらに太い絆へととぐくんでいこうと始められたものです。

今年は、寺泊が赤泊の子ども達を迎える番で、赤泊小学校と川茂小学校の五・六年生八十二名が、町部をはじめ竹森や野積の子ども会など三百五十名の当町の子とも達が待ちわびる岸壁へ、元気にタラップを降りたちました。

対面式の行われる町体育館まで寺泊小学校のバントワラーと金管バンドの先導でパレードを行い、中島町長の温かい歓迎の言葉に、船旅で疲れた赤泊の子ども達もすっかり元気をとりもどし、交歓ムードにひたっていました。

翌日からのゲーム、追跡ハイク、キャンプファイヤーなどでは、満足感にあふれ、二十七日の別れの朝は、新しく出来た友達顔を求める子ども達で港はいっぱいでした。「たくさんのお友達が出来てた



いへん楽しかった。」「昨年の交歓会で友達となり、ずっと文通を続けている人と会えてとってもうれしかった。」と喜びあう両泊の子とも達が、また来年の会う日を楽しみにいつまでも手をふっていました。

あいにく、天候には恵まれなかった三日間の交歓会でしたが、友情の灯はいつまでも小さな心に残り、良い思い出となることでしょう。

# なごやかムードいっぱい 両泊親善体育大会

### 寺泊 ← 赤泊

今年で三十三回目を迎えた両泊親善体育大会が、七月十七・十八の両日当町を会場に開催されました。

十七日の朝カーフェリーで赤泊から選手団百十八人と議員が寺泊港に到着、中島町長はじめ当町選手や関係者大勢が迎え、さっそく中央埠頭で歓迎式を行い、再会を喜びました。

第一日は午前十時から卓球、ソフトボール、午後は大会のメインである陸上競技、二日は野球、テニス、バドミントン、バレーボール、バスケットボールと各種目

に熱戦が展開されました。競技の結果は、陸上競技総合の部優勝は赤泊村、球技総合の部優勝は寺泊町で、仲良く優勝を分けあいました。

また十七日午後七時半から町体育館で「両泊友好の夕べ」が催され、花東やエールの交換、郷土芸能の発表、それに選手代表のカラー大会などがなごやかに行われました。両町村長も特別出演して自慢のノドを披露し拍手かっさいをうけるなど、観衆の町民も一体となって友好親善の深まった大会でした。



なごやかに両泊友好の夕べ



本場の「おけさ」にうっとり



▲仲よくアベックでピンつり

## 火災義援金 御協力ありがとうございました

六月二十一日発生した、竹森・星修平さん宅の火災に対し、皆様からご協力いただいた義援金は、六十七万九千九百三十九円になりました。

中島町長が皆様を代表して、星さん宅を訪れお見舞しました。星さんは、皆様の温かい善意に対し、深く感謝し、再建築のためにがんばりたいと言っておられました。

終戦当時の引揚者の方へ  
通貨・証券などを  
お返ししています

税関では、お預かりしている次の通貨、証券などをお返ししています。

○終戦時、外地から引揚げてこられた方が、上陸港の税関、海運局に預けられた通貨、証券など。○外地の集結地において総領事館などに、預けられた証券などのうち、日本に送還されたもの。返還の申し出は、ご本人ばかりでなく、ご家族の方でも結構です。お心あたりの方は、上陸港を所轄する税関または、最寄りの税関へお問い合わせください。

新潟税関支署  
〒950新潟市電ヶ島町一五  
☎0252-44-9312

## し尿汲取について

し尿の汲取料金については、四月から、現金で支払っていただく方式に改めましたが、次の点にご注意ください。

1. 汲取車のうしろに汲取量の表示目盛がありますので、必ず確認してください。
2. 汲取料金を支払った後、必ず領収書をもってください。

なお、し尿汲取に関して不明の点がありましたら、役場保健衛生課まで照会してください。

# 若者よ、命落とすな、スピード落とせ。

昨年県内で発生した交通事故による死亡者は二百二十八人になりましたが、その内二十五才未満の若者の死亡者が七十四人で三十三パーセントを占めました。

若者の死亡原因は、高速暴走運転や飲酒運転などの悪質違反によるものが六十五パーセント（四十八人）で大半を占めています。

昨年十月県警で千八百六人の運転者を対象に実施した意識調査によると、「スリルやスピード感を楽しむ」が五十三パーセント、「カッコ良さを見せたい」が二十五パーセント、「自信過剰」が十二パーセント、「安全運転に必要な知識や経験が無い」が五パーセントという結果が出ており、いかにスピードにあこがれる若者が多いかということがうかがえます。

「交通事故の心配をしているか」という調査では、七十三パーセントの若者が不安を抱いていると答えています。しかしその反面、「交通ルールは絶対に守るべき」とする若者は五十パーセントと低く、若者の不安定な心理をのぞかせています。

このような若者の不安定な心理を理解し、家庭では充分な話し合いをとおして安全運転の指導を行い、貴重な若者の生命が消えさることのないよう努めてください。

# 若者の死亡事故激増！

- 若者ドライバーの皆さんへ
- 安全速度を必ず守る
  - カーブの手前で速度を落とす
  - 交差点では必ず安全を確かめる
  - 一時停止で横断歩行者の安全を守る
  - 飲酒運転は絶対しない



死亡事故の33% 74人は若者の暴走によるものです

## あとをたたない飲酒運転

### 根絶「署名運動」に御協力ください

飲酒運転をして検挙される者があいかわらずあとを絶たず、きわめて憂慮すべき状況にあります。本年に入り七月末までに、酒酔い運転三件、酒気滞り運転六件、酒酔い運転による事故一件の計十件の検挙があり、与板警察署管内二十一件の半数をしめるまことに不名誉な実状です。

道路交通法の改正により、酒酔い運転は運転免許が取消しとなるばかりでなく、重大事故につながるりますから、運転者は充分自覚をもち、酒を飲んだら絶対に車を運転しないという習慣をつけてください。

交通安全意識のバロメーターといわれる飲酒運転の根絶は、家庭、職場、地域ぐるみで根気よく絶滅運動を続ける以外ありません。

この度、当町から飲酒運転を根絶するために、町交通安全協会が「飲酒運転追放署名運動」を展開することにいたしました。近いうちに

## あなたの自転車にTSSマークが付いていますか？

みなさんが使用中の自転車で、自転車安全整備店の点検整備を受けた自転車には、点検整備済みの証としてTSSマークが貼付されています。

今年の四月一日から、このTSSマークに保険がつくことになりました。この保険の対象は、TSSマークに記載されている点検日から一年間の有効期間中に、その自転車に搭乗

中の者に適用されます。補償内容は、この自転車に搭乗中の者（同乗者も含まれる）が事故によって、事故の日から百八十日以内に死亡又は重度後遺障害となつた場合には、一律三十万円が支払われます。また、第三者に死亡又は重度後遺障害を負わせたことにより法律上の損害賠償責任を負うことになつた場合には、五百万円を限度に保険金が支払われま



▲TSSマークのある自転車なら安心



なお、保険金請求の手續については、自転車安全整備店もしくは役場交通安全係まで連絡ください。

交通安全協会の役員の方が、皆さんの家庭を訪れますので、現状を再認識くださるとともに、趣旨を充分御理解ください。家族ぐるみで「署名運動」に御協力くださるようお願いいたします。

## 歯のはなし

### 歯の治療費について

今回は、前々回のグラフと数字をもとに、歯の治療費についてお話ししたいと思います。

むし歯や歯槽のうろ・うあるいは他の原因で、寺泊町の皆さんの口の中から失われた大人の歯（永久歯）の数は九万一千五百八十四本あります。

全部、歯医者に抜いてもらつたとして、その治療費を計算してみます。麻酔や歯を抜く時に行う他の手術や、歯を抜いたあとの化膿や痛みを止めるための薬の費用は今回は計算しないことにします。

昭和五十七年七月二十六日現在の六才以上の人の口の中から大人の歯（永久歯）を抜く治療費は、前歯で一本一千円、奥歯で一本一千七百円です。失われた歯の数万一千五百八十四本を、前歯と奥歯でそれぞれ半分の四万五千七百九十二本ずつとして計算してみました。△歯槽5,792円 × 1,100円 = 6,371,200円 △麻酔 45,792円 × 1,700円 = 77,846,400円 △合計一億二千八百一十一万七千九百一十二円

寺泊町国保診療所  
歯科医長 富井康年

